

畜産みやぎ

発行所

名取市増田字柳田379番地1

宮城県畜産会

電話 (382-8133)

編集発行人 大堀 哲

定価 1部80円

印刷所 (株)東北プリント



「第4回日本の牧場スタンプラリー」参加農場（高橋牧場：大衡村）

もくじ

平成10年度畜産課予算の概要と新規事業の紹介…… 2

「21世紀みやぎの牛づくり活性化事業」の紹介…… 4

畜産農家パソコン研修会開催される…… 5

就農するに当って…… 6

「第4回日本の牧場スタンプラリー」
参加農場の紹介…… 6

遺伝子解析技術の現状…… 7

豚の古くて新しい病気……豚増殖性腸炎…… 8

人の動き…… 8

平成10年度畜産課予算の概要と新規事業の紹介

宮城県畜産課

畜産は、国際化の進展や市場原理に基づく産地間競争の激化が一層見込まれる中で、畜産従事者の減少と高齢化の進展、畜産物に対する国民ニーズの多様化、さらには地球環境問題や畜産物の安全性に対する関心の高まりへの対応等、大きな変革の時代を迎えている。

このような状況の下、本県の畜産が将来にわたって食料供給や国土、環境保全等の役割を引き続き果たしていくためには、各種事業を積極的に活用しながら、本県の畜産を産地間競争に勝つことができる自立した産業として育成してゆくことが必要である。

まず、生産者の主体的な取り組みと地域の特色を活かしながら、効率的で生産性の高い畜産経営体の育成、安全で高品質な畜産物の生産、畜産を主体とした地域の活性化を推進することが重要である。また、需給動向に即した畜産物の生産に向け、畜産物流通の合理化や銘柄化等を図ることが不可欠である。

県では、農業者が夢と誇りを持って農業経営に取り組めるよう、革新、共生、交流を基本とした「みやぎ『農業・農村』ビジョン」を平成9年度に策定したところであり、さらに、平成8年度に策定した「酪農・肉用牛生産近代化計画」、「家畜改良増殖計画」の計画実現に向けて、総力を挙げて施策を展開する。

そのため、平成10年度は、地域の動向を的確に捉えつつ、21世紀を視野にいれた肉質、肉量のバランスがとれた肉用牛生産体制を確立するため、多様な遺伝的能力をもつ種雄牛を活用した個々に特色のある肉牛の生産をすすめる、経営の安定を推進するとともに、環境保全型畜産の総合的な整備、家畜保健衛生対策を強化し、多彩な産地づくりや生産基盤の整備促進を図る。

さらに、「仙台牛」、「宮城野和牛」、「宮城野豚(ミヤギノポーク)」、「宮城のフレッシュ牛乳」などの県内産畜産物の銘柄化と消費、販売対策の推進、畜産物の安全性の確保、家畜市場の再編整備、生乳流通合理化等各般の施策を実施することにより、生産流通の効率化を支援する。

このような展開にあたっては、「21世紀に対応した魅力あふれる畜産の展開」をスローガンに次の事項を重点目標として、県民の視点に立って、従来以上に事業効果を重視した事業展開を行うとともに、農林水産業や商工業等関連する諸分野や市町村、農業協同組合、畜産関係団体等との連携を深めながら、畜産農家が希望と意欲と誇りを持ち創意と工夫に満

ちて取り組むことができるよう、総合的、戦略的に施策を推進する。

- | | |
|---|------------------|
| 1 | 21世紀みやぎの肉用牛生産の振興 |
| 2 | ゆとりと効率的な酪農経営の振興 |
| 3 | 魅力ある先進的養豚経営の振興 |
| 4 | 快適な畜産を支える生産環境の整備 |
| 5 | 新たな畜産技術の開発、普及 |

以下、主要な平成10年度の新規事業を紹介します。

1 21世紀みやぎの牛づくり活性化事業(別ページで詳しく紹介します)

21世紀を視野にいれた肉質・肉量のバランスがとれた肉用牛生産体制を確立するため、多様な遺伝的能力をもつ種雄牛を活用した個々に特色のある肉牛の生産を展開する事業。

- | | |
|-------------|-----------|
| (1) 事業主体 | 県, その他 |
| (2) 事業年度 | 平成10年度～ |
| (3) 10年度予算額 | 276,861千円 |
| (4) 事業内容 | |

- ① 肉用牛集団育種推進事業
- ② 肉用牛生産経営技術改善事業
- ③ 家畜導入事業
- ④ 早期体外受精卵移植利用事業
- ⑤ 県産牛肉消費拡大対策事業
- ⑥ 優良肉用牛資源供給事業
- ⑦ 21世紀みやぎの牛づくり活性化事業

2 転作作物高度化促進事業

新生産調整対策の重点転作作物である飼料作物の効率的な利用を促進するため、簡易サイロ、パドック整備、畜舎の簡易改修等や家畜導入を行う。

- | | |
|-------------|----------|
| (1) 事業主体 | 農協等 |
| (2) 事業年度 | 平成10年度～ |
| (3) 10年度予算額 | 18,460千円 |
| (4) 事業内容 | |

簡易サイロ及び家畜の導入に対して助成する。

- ① 簡易飼料作物貯蔵施設
14セット 補助率 1/3 (上限140千円)
- ② パドック整備等
10セット 補助率 1/3 (上限150千円)
- ③ 肉用繁殖牛
100頭 補助率 1/3 (上限120千円)
- ④ 肉用肥育牛
100頭 補助率 1/10 (上限 30千円)

3 家畜市場流通対策事業

家畜の取引の大量化、広域化に対応できる、統合家畜市場の建設を行うとともに、本県産和牛子牛の有利販売のため、県内外での広報活動を実施し、本県の主要な取引畜種である和牛子牛の売価を高め、有利販売を図る。

また、家畜商講習会の開催等により、家畜取引の円滑化を図る。

- (1) 事業主体 県経済連等
- (2) 事業年度 平成10年度～
- (3) 10年度予算額 636,152千円
- (4) 事業内容

- ・小牛田町に統合家畜市場を建設する。
- ・宮城県子牛市場運営協議会が中心となり、県産子牛の販売促進のためのキャラバン活動、PRパンフレットの作成及び配布等を行う。
- ・家畜商講習会の開催、家畜商免許証の交付、家畜取引台帳の検査及び家畜市場の立入検査を行い、家畜取引の円滑化を図る。

4 畜産環境整備特別対策事業

畜産経営に起因する環境汚染の防止と経営の合理化に資するために必要な、基盤、家畜排せつ物処理施設、利用機械等の整備と併せて畜産施設周辺環境の整備を実施し、農村環境改善に資する。

- (1) 事業主体 社団法人 県農業公社
- (2) 事業年度 平成10～12年度
- (3) 10年度予算額 124,616千円
- (4) 事業内容

区 分	事業種目	補助率
基盤整備及び周辺環境整備	草地等造成整備改良, 道路整備改良, 施設用地造成, 環境保全林, 畜舎施設周辺整備	国50%, 県20%以内
施設整備	堆肥舎, 家畜排せつ物処理施設等整備	国50%, 県15%以内
農機具等導入	ふん尿運搬機械	国50%, 県10%以内

5 環境保全型畜産確立対策事業

家畜ふん尿の良質堆肥化等の適正な処理により畜産環境の保全を図りつつ、耕種農家及び耕種地域における堆肥利用を促進し、環境保全型の農業の推進に資する。

- (1) 事業主体 河北町, 小野田町
- (2) 事業年度 平成10～11年度
- (3) 10年度予算額 164,424千円
- (4) 事業内容

- ・基幹堆肥化施設(堆肥センター等)の整備
- ・予備調整施設(一時水分調整施設)
- ・関連機械の整備

(畜産経営係 鈴木秀彦)

平成10年度畜産関係予算一覧表

科目・事業名	本年度予算額(千円)
I 畜産総務費	740,130
II 畜産振興費	3,850,239
1. 家畜改良増殖事業費	70,611
2. 家畜改良対策事業費	6,656
3. 家畜導入事業費	18,460
4. 畜産高度生産技術実用化促進事業費	15,143
5. 畜産流通対策事業費	726,655
6. 地域畜産振興事業費	24,805
7. 畜産環境総合整備事業費	351,277
8. みやぎの快適畜産総合対策事業費	189,736
9. 畜産団体等育成強化事業費	718,246
10. 公共育成牧場対策事業費	119,083
11. 草地開発事業費	1,187,544
12. 自給飼料生産対策事業費	4,152
13. 流通飼料対策事業費	2,899
14. 学校給食用牛乳供給事業費	117,252
15. 生乳流通改善対策事業費	4,952
16. 酪農経営体質強化対策事業費	2,100
17. 畜産再編総合対策推進事業費	2,132
18. 肉用牛総合振興推進事業費	3,172
19. 養豚振興総合対策事業費	8,503
20. 21世紀みやぎの牛づくり活性化事業費	276,861
III 家畜保健衛生費	183,063
1. 家畜伝染病予防事業費	51,036
2. 家畜保健衛生費	17,266
3. 家畜衛生事業費	114,761
合 計	4,773,432

STAR STAR農業機械

マニュアルトラック

倍角ステアリングで
ラクラク作業

TBM1550+A DW1800
(倍角ステアリングボディ) (デュアルブレーク)

STAR農機株式会社 仙台営業所
〒985-0845 多賀城市町前2丁目87 TEL 022-367-4573

「21世紀みやぎの牛づくり活性化事業」の紹介

宮城県畜産課

本県における肉用牛の改良は、種雄牛については肉用牛集団育種推進事業の展開による基幹種雄牛の選抜と、繁殖雌牛については、産子の産肉情報に基づく育種価推定による改良事業が進められています。

しかし、最近の傾向を見ると枝肉成績、特に肉質を重視し、雌牛の種牛性（初産月齢、分娩間隔、泌乳能力、粗飼料利用性、子牛の増体能力など）が軽視される風潮が見られます。雌牛で最も重要な能力の1つは繁殖能力であり、それは1年1産して、子牛を十分に育・育成できる能力です。しかも体積に富み、飼い易い雌牛であることが求められています。

肉質偏重により交配が特定種雄牛に傾斜してしまうと雌牛集団の血統構成にも偏りが生じ、また近親交配による集団の近交度の上昇も避けられません。

これらの問題点を少しでも解決するため、県が事業主体となり、県内の草資源を最大限に利用し、種牛性に富み、粗飼料多給が可能なコスト低減の図れる増体型肉用牛の遺伝資源（ここでは非茂重波系）を増殖する事業を実施することにしました。

この事業は、宮城県農業公社白石牧場の繁殖雌牛400頭を利用し、放牧場を利用した粗飼料利用性の高い、より種牛性に富む雌牛を県内に配布するとともに、場内の遺伝的能力を高めていくものです。

また、これまでと同様に肉質と増体の兼備型種雄牛の選抜を推進するとともに、和牛改良組合を中心とし、子牛や肥育牛の適正出荷に向けて事業を実施していく予定です。

1 改良対策

- ①肉用牛集団育種推進事業（国庫補助，継続）
事業主体：県
事業内容：優良肉用種雄牛づくりを行うため、基礎雌牛800頭に計画交配，産子調査，直接検定，間接検定等を実施
- ②肉用牛生産経営技術改善事業（国庫補助，継続）
事業主体：県
事業内容：調査指導600戸，耳標装着，産肉成績の情報処理（育種価推定）を実施
- ③優良肉用牛資源供給事業（一部国庫，新規）
事業主体：県
事業内容：増体型種畜の生産及び優良子牛の配布
- ④早期体外受精卵移植利用事業（県単，新規）
事業主体：県及び県農業共済組合連合会
事業内容：登記のとれる体外受精卵の移植，生産

2 組織・地域振興策

- ①21世紀みやぎの牛づくり活性化事業（県単，新規）
事業主体：県及び和牛改良組合等
事業内容：地域の特性を活かした子牛・肥育牛の適正出荷を組織的に推進
- ②家畜導入事業（国庫，継続）
事業主体：市町村，農協
事業内容：優良繁殖牛の導入

3 販売対策

- ①県産肉牛消費拡大対策事業（県単，継続）
事業主体：仙台牛銘柄推進協議会
事業内容：県内，首都圏及び中京地区を重点に仙台牛，宮城野和牛の消費拡大推進
肉質全国トップレベルに肉量を付加した牛づくりをめざしましょう。

(家畜改良係 鈴木英作)

●効能……粗飼料の食い込み、消化吸収促進
悪臭防止、優良堆肥作り
創業38年の販売実績を誇る安全、天然野生酵母

Ferment Feed
ビタコーゲン

株式会社 セイフ 東北営業所
〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目16番3号
TEL (022) 215-3112
FAX (022) 213-7190

ORION
ともに前進 技術のオリオン

酪農家の
声を反映した製品づくりと安心のおけるアフターサービスはオリオングループの誇りです。

東北オリオン株式会社
本社 〒884-0001 仙台市若林区鶴代町1番68 ☎(022)284-0691
宮城営業所 吉川市新田字糸塚敷59-4
〒989-6226 TEL (0229)26-4330

動物用医薬品 犬・猫用ノミ駆除剤
フロントライン®スプレー

動物用医薬品
ピラキニド・セレン配合ミネラル固形塩
鉍塩E100

東北ゼンヤク株式会社
〒981-3361 宮城県黒川郡広谷町あけの平2丁目31-5
TEL 022-348-6791 FAX 022-348-6794

畜産農家のパソコン研修会 開催される

NOSA | 宮城 家畜課

パソコンの普及にともない、もっと気軽に利用し、畜産経営に役立ててもらおうと1月13日、「畜産経営関係情報データベース利用研修会」が、仙台市青葉区のNOSAビルで開かれた。これは、NOSA宮城と県畜産会が主催するので、今回で3回目。県内の畜産中核農家や関係機関など約60人（うち畜産農家25人）が参加した。今回は、NTT仙台支店から講師を招いて、「マルチメディアと情報通信」について講演を聞き、参加者達が実際にインターネットや経営支援システムを体験した。

「マルチメディアと情報通信」のテーマでは、NTT仙台支店マルチメディアサービス推進室の苫米地弘行室長が講演した。

苫米地室長は、パソコンプロジェクターを使いながら説明。

最初に「インターネットは、電話などと違い、仕事上お互いに時間を束縛し合わずに、用件を伝えたり受取ったりできる」と話した。

また、ホームページで、趣味などに役立つ情報が得られ、世界中に発信することができることを示し、経費面でも低コストであるという。

参加者たちは、スクリーンに映し出された内容を見ながら、真剣に見入っていた。

平成9年のパソコンの出荷数は880万台と、テレビとほぼ同じ数字になっている。

その後、関連団体が「畜産経営に役立つシステム」を紹介したあと、実際にパソコンに触れる研修に入った。

参加者は、乳牛と和牛それぞれの経営別にグループに分かれ、①インターネット体験②経営支援システム体験の両方を受講。

インターネット体験ではホームページを開き、その仕組みと作り方について研修した。

また、経営支援システム体験では「自己診断」で家族労働力員数や、飼養頭数など入力し、飼養頭数や収入などについて「経営予測」を立ててみた。

受講者の中には、実際にパソコンを導入して、青色申告決算書などを作成している農家や、趣味に生かしている人、まったく初めてパソコンに触れる人などさまざまだったが、「興味深かった」と感想をもらしていた。

(次長 菊地 重夫)

ーガット・ウルグァイ・ラウンド対策ー

経営効率化機械リース助成事業

ゆとりある経営をリース 助成制度の利用で実現！

この制度は、リース料の一部を助成し、借受者の負担を軽減するものです。

① 助成対象機械装置

リース料助成対象機械の種類	リース期間
新搾乳システム関連 ミルカーユニット、自動離脱装置 自動計量装置、自動洗浄装置 付帯機器 ビット内ストール、ゲート バルククーラ	3年以上5年以下 3年以上5年以下 5年以上8年以下 6年以上8年以下
自動給餌システム関連 自動給餌機、サイレージ取り出し機械 飼料混合調製機械、飼料粉碎用機械 飼料運搬装置、飼料荷受け装置 飼料貯蔵装置	5年以上8年以下 5年以上8年以下 5年以上8年以下 5年以上8年以下
畜舎内環境制御関連 微気象抑制システム、セミwindレス装置	4年以上6年以下
省力化飼養管理関連 パソコン、パソコン周辺関連	4年以上6年以下
その他 高床式分娩ケージ 多機能床パネル、生体肉質測定機 高圧洗浄器、堆肥搬出用機械 送風機 体重測定機 特認機械	5年以上8年以下 3年以上5年以下 3年以上5年以下 4年以上6年以下 6年以上8年以下 対象機械により算定

② リース助成の対象者

乳用牛、肉用牛、豚その他の畜種を飼養する「認定農業者」および都道府県知事が適当と認める経営者（個人・法人）、また、農協、農協連、事業協同組合、特認団体も対象となります。

③ リースのメリット

1. 多額の資金を用意する必要がありません。
2. リース料は経費として処理できます。
3. 手続きが簡単です。
4. コストが正確に把握できます。

農林水産省畜産局
社団法人中央畜産会
都道府県畜産会

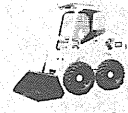
リース助成事業のご相談は、宮城県畜産会へ

〒981-1224 名取市増田字柳田379-1

TEL 022 (382) 8133

FAX 022 (382) 8135

TCM東洋搬機



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。
畜産農家の近代化に
作業の省力化に大きく貢献します。
豊富なアタッチメント。

TCM東洋搬機株式会社
東北ディー・シー・エム株式会社
〒983-0013 仙台市宮城野区中野字茶畑135-1
電話 022-259-6351

KOMATSU

カンタン操作で、
飼料も堆肥もラクラク作業



コマツ宮城株式会社
仙台市宮城野区扇町二丁目1の30
電話(022)(237)7441番代

飼料は  **まるきた印**

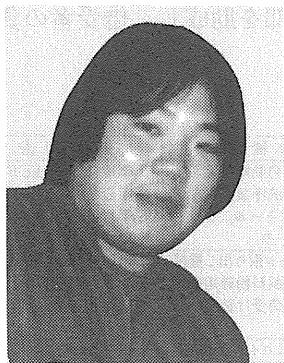
採卵鶏用配合飼料
ブロイラー配合飼料
肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社
石巻市川口町3丁目2番8号
TEL石巻 0225 (22) 6111
FAX石巻 0225 (22) 6116

実践大学校生の抱負

就農するに当って

大沼 朗



この春、実践大学校畜産学部を卒業し社会人となります。そんな中私は農業を仕事としこれからの人生を送っていきたくと考えています。

小さい頃から父の働く姿を見てきましたが、私も高校生ぐらいから農業に魅力を感じるようになりました。

私の家では、母が保母をやっているのだから農業をやっているのはいつも父一人でした。現在、稲と繁殖和牛を中心に経営を行っています。

父も、今年から私が一緒に農業をやっていくので、年々規模拡大を行ってきました。その結果、今年から水田十三ヘクタール、繁殖和牛十五頭の経営内容となります。これが、私が仕事をやっていく上でのスターとラインです。

しかし、今の農業は大変苦しい時だと思えます。減反、米価の下落などいいことなどはなにもないのではないかと思います。でも私はこんな中でも農業をやっていく道を選んだので、これから父と経営を行っていく上で、学生時代に取得した人工授精、削蹄の免許などをうまく活用していきたいと考えています。まず、我が家の牛の人工授精、削蹄などは自分で行っていきたいと考えています。繁殖和牛はもう少し増頭する予定です。そして、将来は、繁殖、肥育の一貫経営をやりたいと思えます。

最後に、今の農業は若者にとって決して魅力のある仕事だとは思いませんが、私はあえて農業をやっていくことで農業の苦しさ、楽しさを感じながら父と一緒にこれからの経営を行っていきたくと思えます。

「第4回日本の牧場スタンプラリー」参加農場の紹介

仙台家畜保健衛生所

北は北海道南は九州沖縄まで、216もの牧場が参加して行われる「第4回日本の牧場スタンプラリー」に、宮城県から6農場が参加していますが、今回管内の2つの牧場をご紹介します。

一つめは、JR仙山線愛子駅から車で5分、青葉区芋沢の飯田牧場です。近くには作並・秋保温泉の観光地を控え、シーズン中の土曜日曜は、70台入る駐車場がいっぱいになり、交通整理が大変とのこと。チーズ、アイスクリームの乳製品の他に、ハーブソーセージ等の畜産加工品や、無農薬有機栽培のハーブ野菜の販売もしています。とてもおいしいと評判です。また、市民農園では、ご主人自らが土づくりから栽培の技術指導までを行い、家族みんなで野菜作りに精を出す会員の姿が見られます。

続いて二つめ。大衡村の高橋牧場は、東北自動車道大和ICから仙台北部工業団地経由、大森へ15分のところにあります。かわいい牛の顔が描いてある手作り看板と、きれいな花が出迎えてくれます(表紙写真)。ここでは春の竹の子、夏の昆虫採集と、自然とのふれあいも満喫できます。スキーが得意な高橋さんは、オリンピックが開催された長野へも赴き、事務所はオリンピック関連商品でぎっしり(非売品)。自家製完熟堆肥も販売しています。

ではここで、乳牛さんから一言。

「牛乳っていうのはね、私たちのおっぱいのよ。紙パックやびんに入って、木になったり、畑にできるわけじゃないの。いっぺん見にいっちゃいな。私なんて1日に50kgも牛乳をだすのよ。すごいでしょ? 牛乳ビンなら250本よ。チーズもヨーグルトもバターも、みーんな牛乳からできるのよ。それにね、……」

とても一言では終わらないようなので、続きは現地でどうぞ。

(安達 裕美)

ビフィズス菌は 活かすまま腸までとどきます。 ビヒダス ヨーグルト 500ml 宮酪乳業株式会社

来客 接待に牛乳を!! 宮城県牛乳普及協会 仙台市青葉区錦町一丁目6番5号

肉牛出荷、素牛移動ストレス対策の栄養管理に!! ルビックス 牛用混合飼料 S 農協 全農 経済連

<畜試便り>

遺伝子解析技術の現状

宮城県畜産試験場

【ゲノム、DNAとは?】

動物は、父親から半分、母親から半分ずつ遺伝子を受け継ぐがこの遺伝子の1セットをゲノムという。遺伝子の全てという意味である。そしてゲノムは、DNAという物質からできている。DNAは、糖とリン酸が交互につながった鎖の糖の部分に4種類の塩基(アデニン(A)、グアニン(G)、シトシン(C)、チミン(T))が結合しており、この鎖が2本より合わさって二重らせん構造をとっている。細胞内でゲノムは、染色体という形でまとまっていて、同じ染色体を必ず2本ずつ持っている(父由来1本、母由来1本)。ウシの場合では29対プラス性染色体とで計60本、ブタの場合で、18対プラス性染色体とで計38本である。

【遺伝子解析の現状】

形質の発現は、DNAの特定部位の塩基配列の違いにより決定される。このため塩基配列を知ることが遺伝情報を知ることになる。しかし、この塩基配列の数は、ウシの場合で約30億塩基対と膨大な数であるため、全てを調べることは、多大の時間と労力がかかり不可能である。このために、染色体上で場所の分かっているマーカー(目印)を利用している。現在は、マーカーとしてマイクロサテライトが広く利用されている。マイクロサテライトとは、ゲノム中で2~10の塩基配列が単純なくり返し構造をとっている部分(-CACACACA.....-)のように同じくり返しを20~30回程度繰り返している)であり、ゲノム中に数万ヶ所あるといわれている。また、これまでにそれらの染色体上の位置が調べられており、しかも個体によりその繰り返し回数が違うことが明らかになっている。検出方法についてはPCRという微量のDNAを増幅する技術により検出することができる。このマーカーを染色体上に等間隔になるように複数(1染色体上に9~10ヶ所程度)配置し、そのマーカーの親から子への伝わり方と表現型(経済形質や疾病等)を比較することにより、目的とする表現型が染色体のどの部分によりつかさどられているか調べることができる。例えば、経済

形質について調べようとしたとして、あるマーカーについて種雄牛のマイクロサテライトが、18回と22回の繰り返しであったとする。その種雄牛の複数の子供で同じマーカーについて調べると、父から受け継がれている部分は、18回のもものと22回のものに分かれる。そして18回の方を受け継いでいた子供が経済形質の成績が高く、22回の方は低かったとする。この場合そのマーカーのそばにその経済形質をつかさどる遺伝子がある可能性が高いことになる。そこで今度は、そのマーカーの近傍をより詳しくしらべて行き最終的に目的とする形質を支配している遺伝子を突き止めることが可能となる。

【本県の試験研究の状況】

(1) ウシ関係

畜産技術協会附属動物遺伝研究所、全国21道県及び改良事業団体が共同で、種雄牛造成のための間接検定を利用し経済形質におけるDNAマーカーの検索を行っている。

県単試験では本県基幹種雄牛家系について、経済形質(脂肪交雑等)と関連するDNAマーカーの探索を行っている。

(2) ブタ関係

国と8道県および農林水産先端技術研究所が共同で、DNAマーカーを用いた新育種技術の開発に取り組んでいる。本県での具体的内容は、系統豚“ミヤギノ”と中国豚の梅山豚を交配させて実験家系を作り、これらの孫世代の能力(経済形質等)とDNAマーカーとの関係を調べている。

また、県単試験では、各方面で研究が進んでいるヒトやマウスの遺伝子情報から、豚にも存在がわかっている遺伝子の変異と豚の能力との比較を行っている。

以上のように畜試ではこれら試験の実施により、これからの育種選抜に利用できる遺伝子解析技術の開発を目指しています。

(バイオテクノロジー研究科 菊地 武
養豚家きん科 清水 俊郎)

正統の育ちと味



仙宮牛®

仙台牛銘柄推進協議会

仙台市青葉区上杉1-2-16宮城県経済連食肉販売課内 TEL 022(264)8449-50

WORLD 世界の
チャンピオン



株式会社 五十嵐商会

仙台市若林区卸町五丁目1番地4
電話(022)236-2525(代表)

畜産振興の明日を
担う地方競馬



地方競馬全国協会

<衛生便り>

豚の古くて新しい病気……豚増殖性腸炎

仙台家畜保健衛生所

豚増殖性腸炎（PPE）とは、一般に急性の出血性下痢や突然死または慢性下痢を主徴とする細菌性の病気です。

原因菌は、1974年にPPE感染豚の腸管からカンピロバクター属菌が分離されたことから、1993年まではこれが原因菌とされてきました。

感染は、まだ不明な点が多いのですが、PPE感染豚の糞便を経口摂取して、豚から豚への感染が起こるようです。

臨床症状は、急性型、慢性型、不顕性型に分類されます。急性型は、出荷間近の肥育豚や導入豚に起こり、血液の混じった黒色～タール様の下痢便あるいは突然死を主徴とします。

感染豚を解剖してみると、肥厚してホース状に硬くなった回腸と、その内空に粘膜の出血や黒色～タール状の内容物が認められます。

診断は、臨床症状だけでは他の下痢症状と区別が難しいため、感染豚を解剖し、腸管の上記病変の確認と、細菌学的及び組織学的検査が必要です。

治療薬は、新種の細菌のため、現在のところなく、研究段階のようです。PPEは、今後、養豚経営に及ぼす影響が懸念されるため、日頃の飼養管理に注意することが大切と思われます。

(病性鑑定課 西 清志)

<人の動き>

宮城県

退職（3月31日付け）農政部技監兼次長

迫農林振興事務所長

農政部技術参事兼畜産試験場長

農政部技術参事兼畜産課長

畜産試験場技術副参事

大河原家畜保健衛生所

佐々木 俊 夫

佐藤 信 嘉

佐藤 裕 一

佐久間 敏 彦

高橋 秋 彦

芝原 菜穂子

平成10年 4月 1日付け

Table with 3 columns: 新 (New), 旧 (Old), 氏名 (Name). Lists personnel changes across various departments like 農政部長, 畜産課長, and 仙台家畜保健衛生所.

新	旧	氏名
古川家畜保健衛生所兼古川農林振興事務所	新採用	網代 隆
古川家畜保健衛生所兼古川農林振興事務所	新採用	植田 郁恵
迫家畜保健衛生所長兼迫農林振興事務所畜産振興部長	築館農林振興事務所畜産振興部長兼迫家畜保健衛生所次長	高橋 勝一
築館農林振興事務所畜産振興部長兼迫家畜保健衛生所次長	畜産課技術副参事兼技術補佐	松本 忠
築館農林振興事務所畜産振興部次長兼迫家畜保健衛生所	畜産試験場草地飼料部上席技術主任研究員兼環境資源科長	佐々木 秀夫
迫家畜保健衛生所次長兼迫農林振興事務所	迫家畜保健衛生所上席技術主幹兼防疫課長	峯岸 こう
迫家畜保健衛生所上席技術主幹兼防疫課長兼迫農林振興事務所	古川家畜保健衛生所技術主幹	鈴木 直子
迫家畜保健衛生所兼迫農林振興事務所	畜産課	鈴木 秀彦
迫家畜保健衛生所兼迫農林振興事務所	新採用	小原 剛
農政部技術参事兼畜産試験場長	仙台家畜保健衛生所長兼仙台農林振興事務所副所長兼畜産振興部長	佐々木 良悦
農政部技術副参事兼畜産試験場	迫家畜保健衛生所長兼迫農林振興事務所畜産振興部長	佐藤 新六
畜産試験場草地飼料部環境資源科長	農業技術課専門技術員	及川 恵壽
畜産試験場	新採用	小林 宏子
畜産試験場	新採用	猪股 永治
畜産試験場技師(機械操作主任)	大崎広域水道事務所	高橋 拓夫
保健福祉部長兼がんセンター総長	農政部長	寺島 英毅
農業技術課技術副参事兼肥飼料検査所長	農業実践大学校技術副参事兼畜産学部長	斎藤 喜平
農業実践大学校技術副参事兼畜産学部長	小牛田地域農業改良普及所センター次長	伊藤 次郎
農業実践大学校技術主査	畜産課技術主査	大友 一博
大河原地域農業改良普及所センター技術指導課長兼大河原農林振興事務所	農業実践大学校畜産学部教務主任	高瀬 修
農業技術課技術主査	畜産課技術主査	日野 義彦
大崎地方ダム総合事務所次兼総務課長	畜産課上席主幹	阿部 恒朗
保健福祉部健康対策課主幹	畜産課主幹兼畜産流通課長	山影 悦敏
築館農林振興事務所農業振興部技術主査	畜産課技術主査	青木 隆英
小牛田地域農業改良普及センター技術主査兼古川農林振興事務所	仙台家畜保健衛生所技術主査	曾根 文浩
巨理地域農業改良普及所センター兼仙台農林振興事務所	仙台家畜保健衛生所	安達 裕美
仙北食肉衛生検査所	大河原家畜保健衛生所	加藤 潤
栗原保健所	古川家畜保健衛生所	関 浩
迫地域農業改良普及所センター兼迫農林振興事務所	畜産試験場	武田 正寛


宮城県農業公社

退任(3月31日付け) 理事長
 退職(3月31日付け) 参与兼総務部長
 退職(3月31日付け) 総務部技師

西 城 光 政
 西 條 守
 菅 原 實

平成10年4月1日付け

新	旧	氏名
理事長(宮城県副知事兼務)	宮城県副知事	丹野 諒二
宮城県農政部技術副参事	畜産部長(県より派遣)	荘司 尚
総務部長	(県より派遣)	佐藤 哲雄
畜産部長	農地管理部長	田中 良吾
参事兼白石牧場長	(県より派遣)	西田 茂
副参事兼畜産部牧場管理課長	調査役兼牧場管理室長	佐々木 英一
事業部事業課長兼機械管理課長	畜産部基地建設課課長補佐	佐藤 義治
畜産部牧場管理課主幹(宮城県農業短期大学担当)	白石牧場長	松下 良一
主幹兼白石牧場副場長	大郷牧場長	大崎 慶也
畜産部畜産振興課兼牧場管理課長補佐	事業部技術管理課長補佐	藤本 長之
畜産部牧場管理課課長補佐(宮城県農業短期大学担当)	岩出山牧場次長	佐竹 進
事業部事業課課長補佐(宮城県環境事業公社出向)	畜産振興課課長補佐	太田 秀夫
畜産部牧場管理課主任主査	白石牧場技術主査	上田 博雅
白石牧場主任主査	大郷牧場主任主査	武田 昭市
畜産部基地建設課技術主査	事業部技術管理課技術主査	平田 利幸
白石牧場技術主査	(県より派遣)	千葉 和義
白石牧場技術主査	大郷牧場技術主査	高橋 秀
岩出山牧場技術主査	白石牧場技師	高橋 和浩
白石牧場技師	岩出山牧場技師	横谷 俊英
畜産部牧場管理課嘱託	総務部総務課嘱託	栗原 翠



肉の日

毎月29日は肉の日です

お肉は、私たちの体の血となり
肉となる、たいせつなタンパク源。
ビタミン、ミネラルも豊富な、
たいへん優れた食品です。

宮城県食肉消費対策協議会

〒981-1224 名取市増田字柳田379-1 (社団法人・宮城県畜産会内)

電話 022-382-8133

宮城県経済農業協同組合連合会

平成10年 4月 1日付け

新	旧	氏名
総務部付仙台中央食肉卸売市場出向	園芸部長	伊藤 典安
畜産部付統合家畜市場建設担当	畜産部次長家畜市場統合業務担当	小池隆一郎
総務部付北日本くみあい飼料(株)出向	生産流通課長兼飼料資材課長	丹野 康治
畜産課長	食肉販売課長	木村 伸
総務部付北日本くみあい飼料(株)出向	大河原畜産事業所次長	一瀬 修三
総務部付北日本くみあい飼料(株)出向	飼料資材課長補佐	小関 敏彦
総務部付北日本くみあい飼料(株)出向	小牛田畜産事業所	高橋 修
総務部付北日本くみあい飼料(株)出向	生産流通課	佐々木 仁
畜産課長補佐兼家畜診療所長	生産流通課長補佐	大友 良彦
畜産課長補佐	食肉販売課長補佐	佐々木和明
畜産課	食肉販売課	相澤みや子
家畜市場課	生産流通課兼家畜診療所長	高橋 一雄
大河原畜産事業所次長	大河原畜産事業所	太宰 隆
小牛田畜産事業所	総務部付(株)エコーブ宮城出向	赤坂 仁一
小牛田畜産事業所	古川支所	森谷 久
総務部付北日本くみあい飼料(株)出向	飼料資材課	佐藤 宏子
総務部付北日本くみあい飼料(株)出向	飼料資材課	斎藤 力
米穀課	古川畜産事業所	千葉 洋子
畜産課	生産流通課	後藤 嘉信
畜産課	生産流通課	石垣 史弘
畜産課	築館畜産事業所	内海 聡
家畜診療所兼畜産課	家畜診療所兼生産流通課	深田 留美
家畜市場	小牛田畜産事業所	畑山 和夫
小牛田畜産事業所	古川畜産事業所	松浦 浩司
小牛田畜産事業所	食肉販売課	橋本 圭三
農業機械課	小牛田畜産事業所	菅沢 悌也
畜産部技術主管(嘱託)	宮城県迫農林振興事務所長(嘱託)	佐藤 信嘉
畜産課ミヤギノGGPセンター(嘱託)	生産流通兼ミヤギノGGPセンター(嘱託)	渡辺 好造

宮城県農業共済組合連合会

退職(3月31日付け) 家畜診療研修所長
退職(3月31日付け) 家畜部次長

平 間 盛 義
菊 地 重 夫
平成10年 4月 1日付け

新	旧	氏名
家畜診療研修所長	県南家畜診療センター所長	小野 敏行
県南家畜診療センター所長	県北家畜診療センター次長	早坂 雅孝
中央家畜診療センター次長兼家畜診療研修所次長	中央家畜診療センター次長	千葉 正寛
県北家畜診療センター課長	県南家畜診療センター課長	渡辺 昭夫
県南家畜診療センター課長	県北家畜診療センター課長	大石 武志
県北家畜診療センター技術主査	中央家畜診療センター技術主査	木村 喜正
県南家畜診療センター技師	県北家畜診療センター技師	河野 充彦
中央家畜診療センター技師	県南家畜診療センター技師	鈴木 龍一

宮城県生乳検査協会

退職(3月31日付け) 事務局長兼指導課長

荒 井 威 吉
平成10年 4月 1日付け

新	旧	氏名
事務局長兼総務課長	主幹兼業務課長	高橋 正義
主幹兼業務課長兼指導課長	主幹兼総務課長	高橋 一男

宮城県畜産会

退職(3月31日付け) 事務局次長(家畜コンサルタント)

佐 藤 勝 也
平成10年 4月 1日付け

新	旧	氏名
嘱託 事務局次長(畜産コンサルタント)	事務局次長(畜産コンサルタント)	佐藤 勝也

宮城県動物薬品器材協会 (会員名)

(株) タ ッ ク 仙台市青葉区上杉3-3-8 TEL022-225-7330	(株) 美 濃 谷 仙台市太白区羽黒台31-14 TEL022-245-4306
(株) エ ー シ ン 仙台市若林区卸町2-10-3 TEL022-284-8111	小 田 島 商 事 (株) 古川市清水字周防10-1 TEL0229-26-4567
(株) ト ー シ ン 古川市古川字上古川屋敷9-1 TEL0229-24-3211	(株) ニ 子 工 一 仙台市若林区卸町東1-8-20 TEL022-232-9755